



迎

春



(一社)福島県交通安全協会
会長 小 櫻 輝

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、ご家族とともに穏やかな新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、当協会の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

さて、昨年、当協会では、「交通事故総量抑止対策」、「高齢者の交通事故防止対策」を重点事項として掲げ、県警察、関係機関・団体と連携を図りながら交通事故防止対策を推進してまいりました。特に、高齢歩行者、運転者の事故防止対策として、県警察と連携し「ピカッと・カチッと大作戦」を展開し、夜光反射材やシートベルト着用等の促進活動に積極的に取り組みました。

しかしながら、昨年の県内の交通事故は、発生件数、死傷者数ともに前年を上回るという厳しい結果となりました。特に、全死者数の半数以上を高齢者が占めているほか、高齢者が関係する重大事故が後を絶たないなど、依然として厳しい情勢にあります。

このような情勢を踏まえ、当協会では、今年も新聞・ラジオ等を通じた交通安全の呼びかけや街頭での交通安全活動を強化します。また、引き続き「ピカッと・カチッと大作戦」として夜光反射材の着用促進や全席シートベルト着用の徹底を呼びかけるほか、交通事故の一層の抑止に向けて、「ドライバー総参加のセーフティチャレンジ事業」への参加者拡大に努めてまいります。

結びに、本年が皆様方にとりまして幸多い年でありますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。